



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月5日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平能 正三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122
 四半期報告書提出予定日 2023年4月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日~2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	275,854	10.1	1,077	△60.8	1,658	△38.3	604	66.6
2022年5月期第3四半期	250,630	-	2,747	-	2,688	-	362	-

(注1) 包括利益 2023年5月期第3四半期 3,411百万円(998.1%) 2022年5月期第3四半期 310百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	19.27	-
2022年5月期第3四半期	11.57	-

(注2) 前第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。)等を適用しており、2022年5月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	279,852	88,537	30.5
2022年5月期	268,470	85,605	30.8

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 85,478百万円 2022年5月期 82,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	-	10.00	-	5.00	15.00
2023年5月期	-	10.00	-	-	-
2023年5月期(予想)	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	378,000	11.0	3,700	△2.2	4,000	△4.7	2,100	430.8	66.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	31,554,629株	2022年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	202,877株	2022年5月期	200,162株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	31,353,284株	2022年5月期3Q	31,358,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、経済活動の正常化が進み、景気停滞から緩やかに回復しているものの、エネルギーや諸資材価格の上昇、日米金利差拡大を背景とした為替変動などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,758億54百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益10億77百万円（前年同期比60.8%減）、経常利益16億58百万円（前年同期比38.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億4百万円（前年同期比66.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建材事業

建材事業においては、改装・リフォーム需要の増加と価格改定効果により、売上高1,392億26百万円（前年同期比2.5%増）となりました。利益については、価格改定を進めておりますが、エネルギーや諸資材価格の上昇影響を吸収しきれず、セグメント損失7億53百万円（前年同期はセグメント利益14億69百万円）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、アルミ地金市況に連動する売上の増加などにより、売上高442億42百万円（前年同期比15.8%増）となりました。利益については、エネルギーや諸資材価格の上昇影響はあったものの、収益改善施策の実施により、セグメント利益22億98百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、小売業を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込みましたが、一部改装分野の投資抑制や延期により、売上高303億45百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益については、価格改定を進めておりますが、諸資材価格の上昇や為替影響などにより、セグメント利益3億40百万円（前年同期比78.3%減）となりました。

国際事業

国際事業においては、欧州の自動車分野が堅調に推移したこと、アルミ地金市況に連動する売上の増加や為替影響などにより、売上高618億79百万円（前年同期比38.7%増）となりました。利益については、エネルギー価格等の上昇影響はあったものの、欧州子会社でのコスト改善施策を進めたことにより、セグメント損失6億66百万円（前年同期比15億87百万円の改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて113億81百万円増加し、2,798億52百万円となりました。これは、有価証券が14億81百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が71億52百万円、現金及び預金が37億6百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が19億36百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて84億49百万円増加し、1,913億14百万円となりました。これは、未払費用などその他流動負債が43億51百万円、退職給付に係る負債が21億92百万円、それぞれ減少したものの、短期借入金が143億62百万円増加したことが主な要因であります。なお、純資産は885億37百万円、自己資本比率は30.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月26日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,420	22,126
受取手形、売掛金及び契約資産	55,105	57,041
電子記録債権	5,486	6,122
有価証券	1,492	10
商品及び製品	19,507	21,496
仕掛品	15,931	18,150
原材料及び貯蔵品	17,407	20,352
その他	9,105	7,504
貸倒引当金	△758	△730
流動資産合計	141,698	152,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,609	22,216
土地	54,350	54,507
その他（純額）	25,156	26,400
有形固定資産合計	102,115	103,123
無形固定資産		
のれん	1,674	1,300
その他	2,533	2,510
無形固定資産合計	4,207	3,810
投資その他の資産		
投資有価証券	11,133	11,675
その他	9,980	9,863
貸倒引当金	△664	△695
投資その他の資産合計	20,449	20,843
固定資産合計	126,772	127,778
資産合計	268,470	279,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,361	48,911
電子記録債務	20,339	21,315
短期借入金	12,103	26,466
1年内返済予定の長期借入金	17,501	16,419
未払法人税等	1,381	277
賞与引当金	380	2,062
引当金	22	33
その他	20,736	16,384
流動負債合計	121,826	131,871
固定負債		
長期借入金	40,698	40,521
製品改修引当金	827	743
退職給付に係る負債	10,595	8,402
資産除去債務	476	482
その他	8,441	9,293
固定負債合計	61,039	59,443
負債合計	182,865	191,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	31,929	31,932
利益剰余金	26,188	26,298
自己株式	△252	△254
株主資本合計	72,864	72,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	764	961
繰延ヘッジ損益	196	△229
土地再評価差額金	3,835	3,858
為替換算調整勘定	936	1,506
退職給付に係る調整累計額	3,966	6,405
その他の包括利益累計額合計	9,699	12,502
非支配株主持分	3,040	3,058
純資産合計	85,605	88,537
負債純資産合計	268,470	279,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	250,630	275,854
売上原価	198,692	226,404
売上総利益	51,937	49,450
販売費及び一般管理費	49,189	48,372
営業利益	2,747	1,077
営業外収益		
受取利息	27	40
受取配当金	132	227
持分法による投資利益	255	245
為替差益	—	413
その他	515	516
営業外収益合計	930	1,444
営業外費用		
支払利息	452	535
為替差損	213	—
その他	324	327
営業外費用合計	990	863
経常利益	2,688	1,658
特別利益		
固定資産売却益	251	22
投資有価証券売却益	41	2
その他	2	0
特別利益合計	295	24
特別損失		
固定資産売却損	32	12
固定資産除却損	417	213
減損損失	152	—
投資有価証券評価損	8	1
その他	3	—
特別損失合計	613	227
税金等調整前四半期純利益	2,369	1,455
法人税等	1,883	835
四半期純利益	486	620
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	362	604

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	486	620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	196
繰延ヘッジ損益	△159	△425
為替換算調整勘定	155	582
退職給付に係る調整額	△7	2,434
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	3
その他の包括利益合計	△175	2,790
四半期包括利益	310	3,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192	3,383
非支配株主に係る四半期包括利益	118	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	135,838	38,203	30,701	44,608	249,351	1,278	250,630	—	250,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,800	25,443	55	185	28,484	—	28,484	△28,484	—
計	138,639	63,646	30,756	44,793	277,836	1,278	279,115	△28,484	250,630
セグメント利益又は 損失(△)	1,469	1,959	1,566	△2,254	2,741	71	2,812	△65	2,747

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△63百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	139,226	44,242	30,345	61,879	275,693	160	275,854	—	275,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,026	27,907	58	1,364	32,356	—	32,356	△32,356	—
計	142,252	72,149	30,404	63,243	308,050	160	308,211	△32,356	275,854
セグメント利益又は 損失(△)	△753	2,298	340	△666	1,219	△65	1,153	△75	1,077

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。